

再生可能エネルギー等に関する町民アンケート調査

平成25年1月

八 丈 町

東京都 環境局

特定非営利法人 八丈島産業育成会

東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授 飯田 研究室

名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 丸山 研究室

再生可能エネルギー等に関する町民アンケート調査

1 アンケートの概要

配布数	八丈町に居住する全 4643 世帯 (平成 25 年 1 月現在)
配布方法	八丈町広報への折り込み
実施期間	平成 25 年 1 月 31 日～2 月 12 日
回収率	19.8% (4643 世帯中 917 票)

2 アンケート集計結果

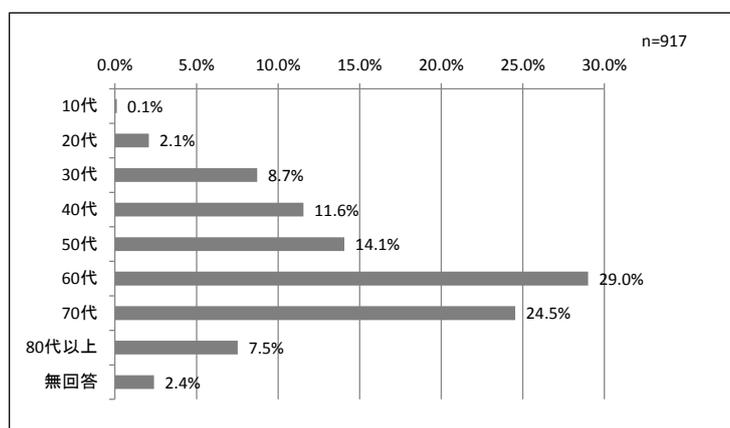
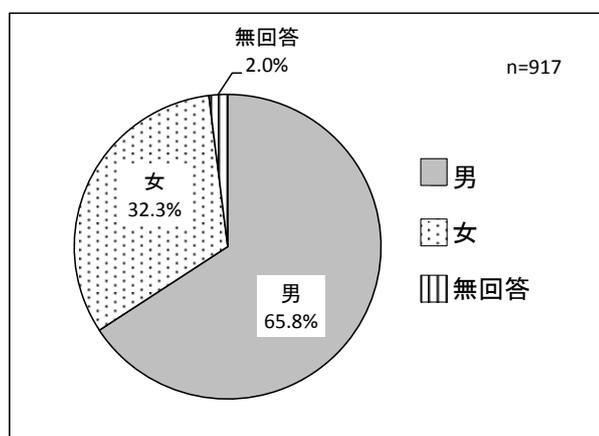
はじめに、あなたご自身（世帯主の方）やご家族についてうかがいます。

1) 性別・年齢

回答者の性別の割合は、男性 65.8%、女性 32.3%となっている。

回答者の年齢の割合は、60代が最も高く 29.0%、次いで 70代が 24.5%となり、回答者の過半数が高齢者であった。これは八丈町の調査による人口推計とほぼ同じ傾向にある。

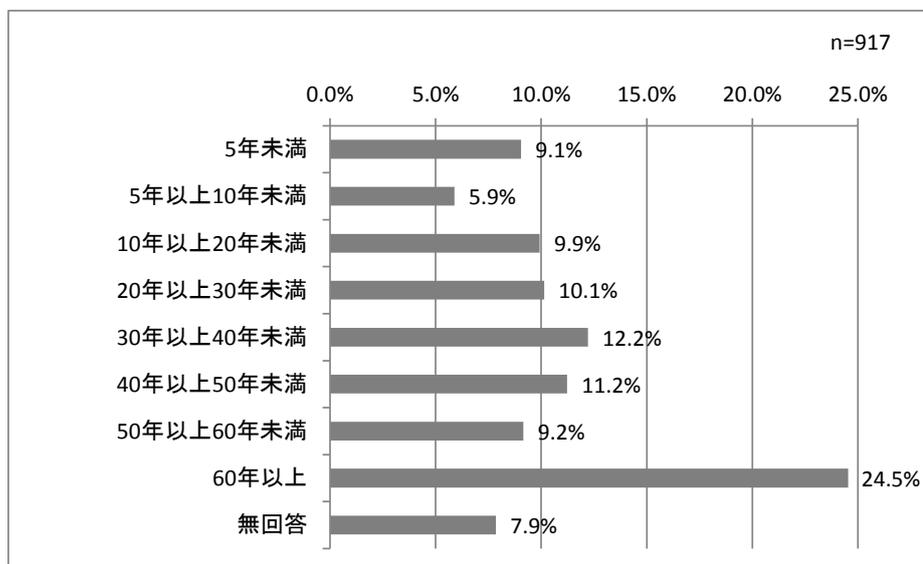
問1 あなたの性別と年齢をお答えください。



2) 居住歴

回答者の居住年数は、60年以上が24.5%と最も多くなっている。

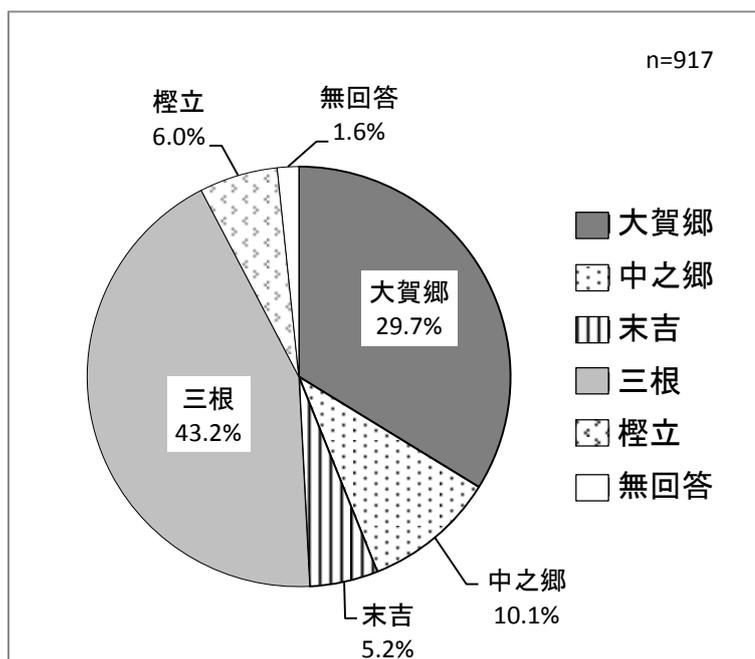
問2 あなたは、八丈町内に合計で何年くらい住んでいますか。1年以内の方は、何ヶ月かをご記入ください（H25.1.1現在）。



3) 居住地区

回答者の居住地区は、三根が最も多く43.2%で、次いで大賀郷が29.7%となっており、八丈町による住民調査の結果と一致する。

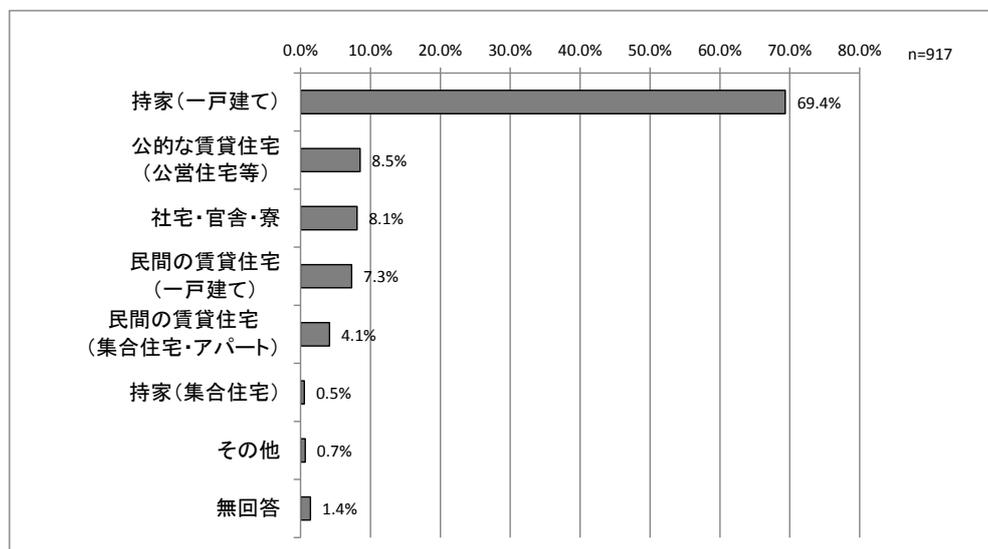
問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



4) 居住形態

回答者の居住形態は、持家(一戸建て)が69.4%と大多数を占めている。

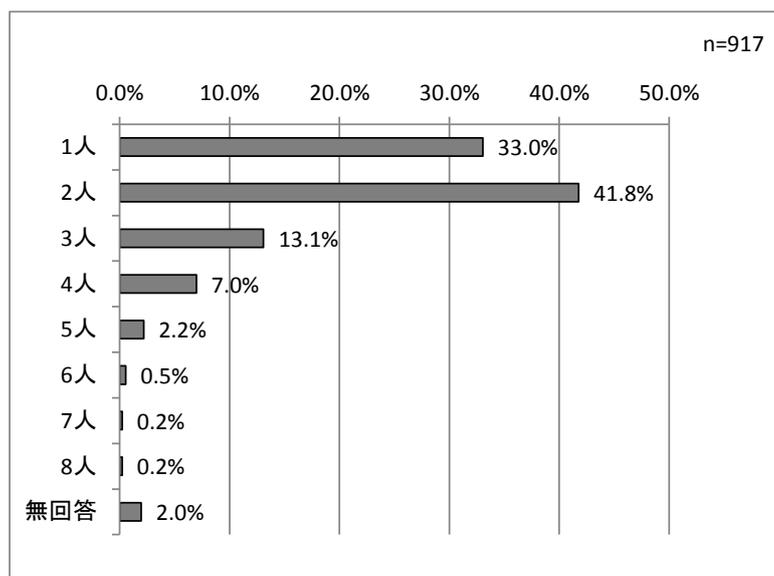
問4 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



5) 家族構成

回答者の家族構成の割合は、2人が41.8%と最も高く、次いで1人が33.0%となっている。

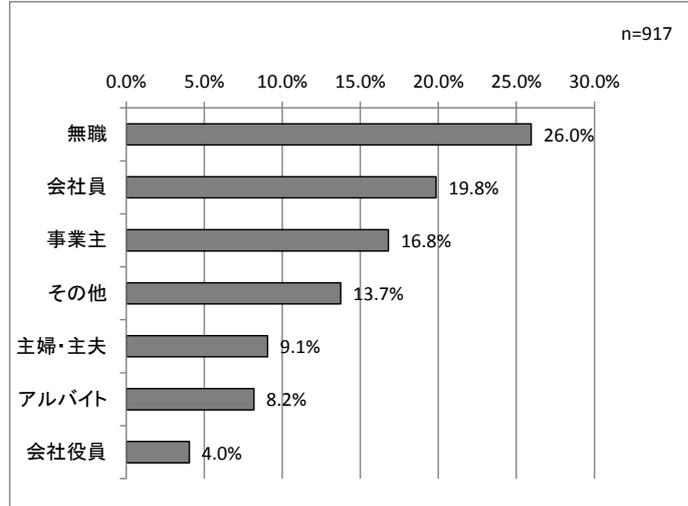
問5 あなたが現在、いっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。



6) 職業

回答者の職業は、60代以上の回答者が多いことから無職が最も多く26.0%を占め、次いで会社員(19.8%)、事業主(16.8%)と続いた。

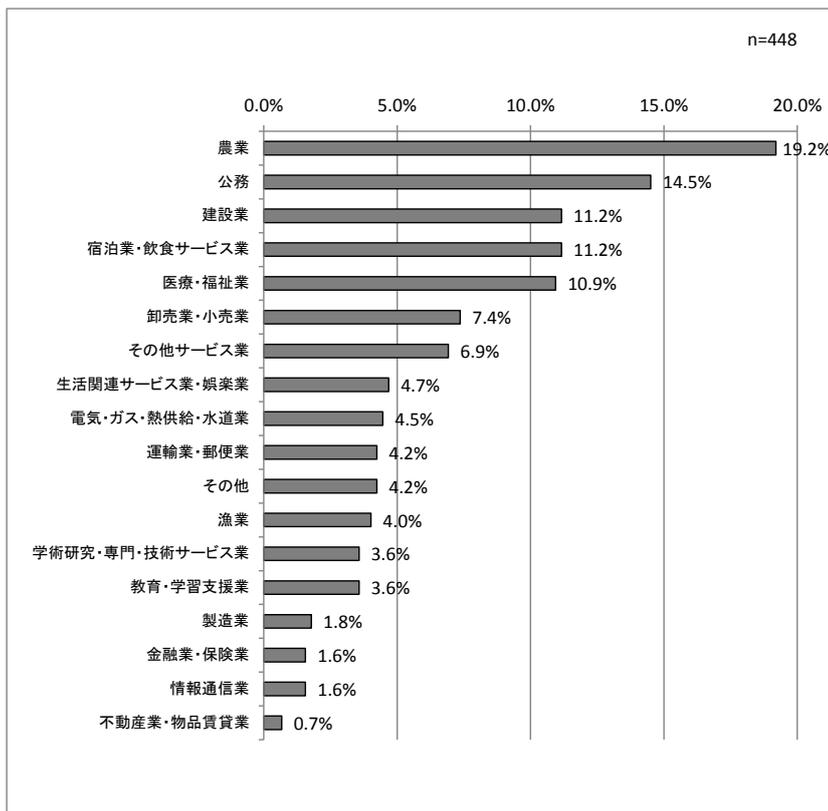
問6 あなたの職業について、あてはまるもの1つに○をつけてください。



7) 業種

回答者の業種は、農業が最も多く19.2%を占め、次いで公務の14.5%、建設業の11.2%となっている。

問7 「問6」で「1.～4.」にお答えした方にお聞きします。あなたの職業の業種について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

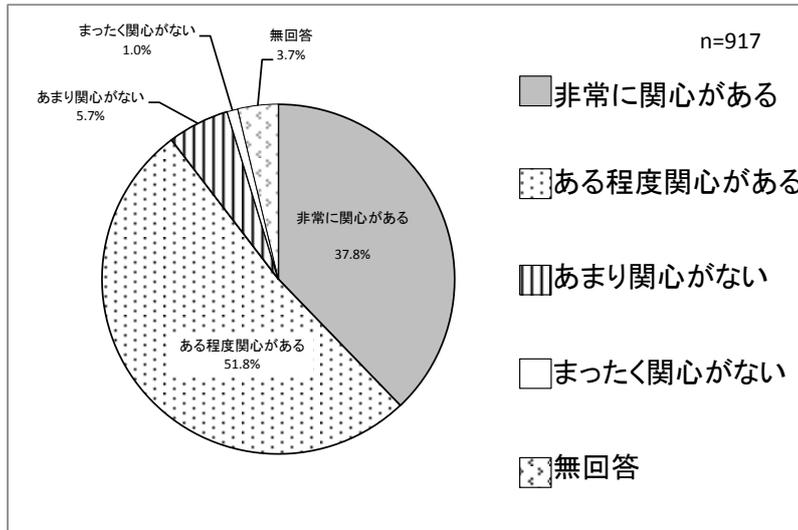


次に、エネルギー政策への関心についておうかがいします。

8) 関心度

エネルギー政策に関して、「非常に関心がある」が37.8%、「ある程度関心がある」が51.8%であった。全体としてかなり高い関心を示している。

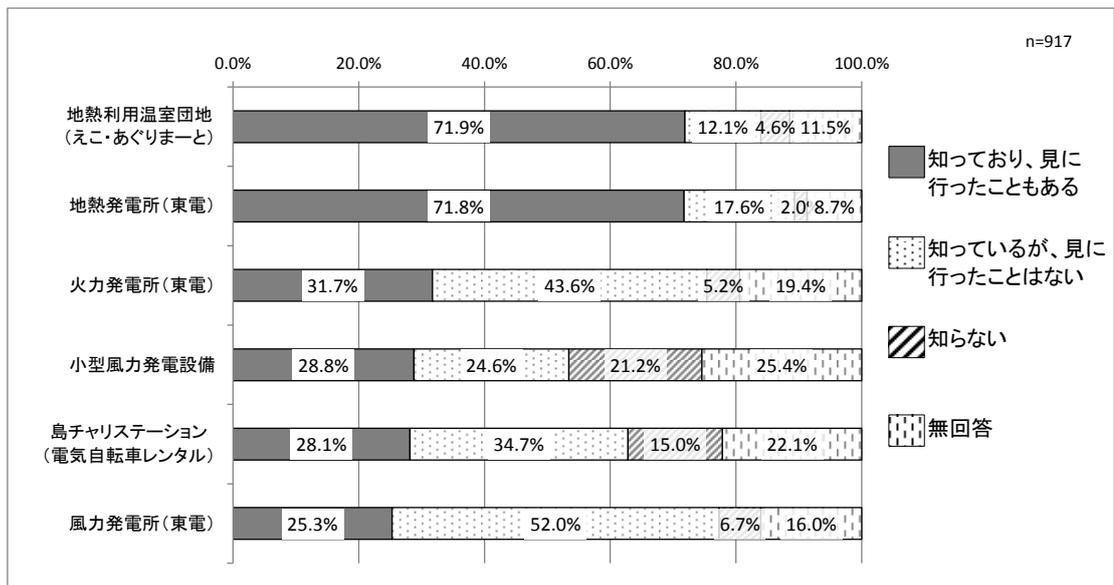
問8 あなたは、エネルギーの問題について、どの程度関心がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



9) エネルギー関連施設

地熱発電所(東電)と、その周辺に位置する地熱利用温室団地(えこ・あぐりまーと)については、「知っており、見に行ったこともある」が全体の7割を占め、認知度・関心度ともに高い割合を示している。

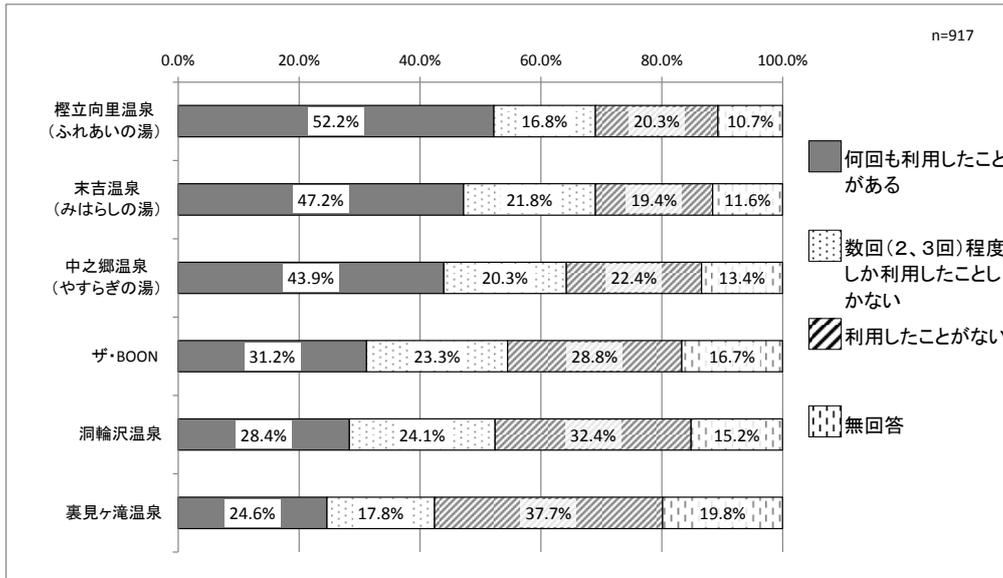
問9 八丈町のエネルギー関連施設の中で、あなたが見に行ったことがある施設をお答えください。あてはまるものにそれぞれに○をつけてください。



10) 温泉施設の利用

檜立向里温泉(ふれあいの湯)では52.2%が「何回も利用したことがある」と回答し、最も多くの島民にリピートされていることが分かった。

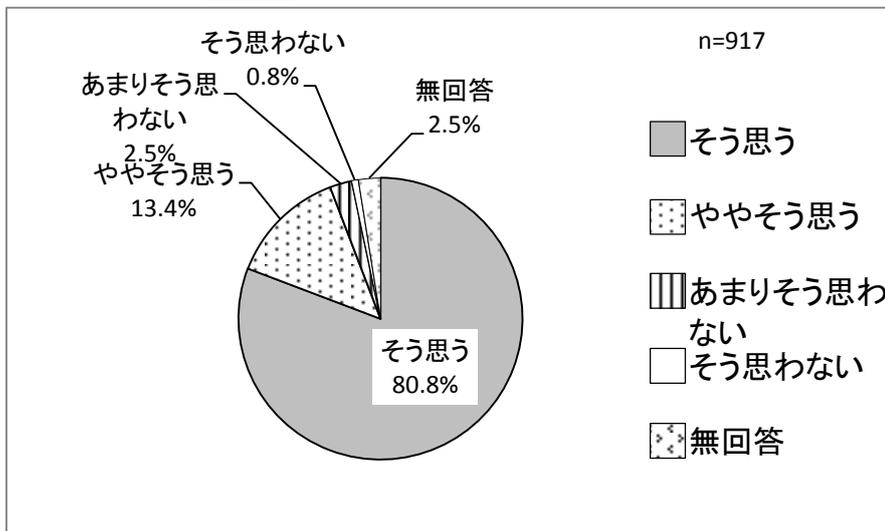
問10 あなたは、八丈町内の温泉施設を利用したことはありますか。あてはまるものにそれぞれに○をつけてください。



11) 再生可能エネルギーの導入

再生可能エネルギーの導入について、「そう思う」と「ややそう思う」の賛成意見が全体の9割を占めており、回答者の大半は再生可能エネルギーの拡大が必要だと感じている。

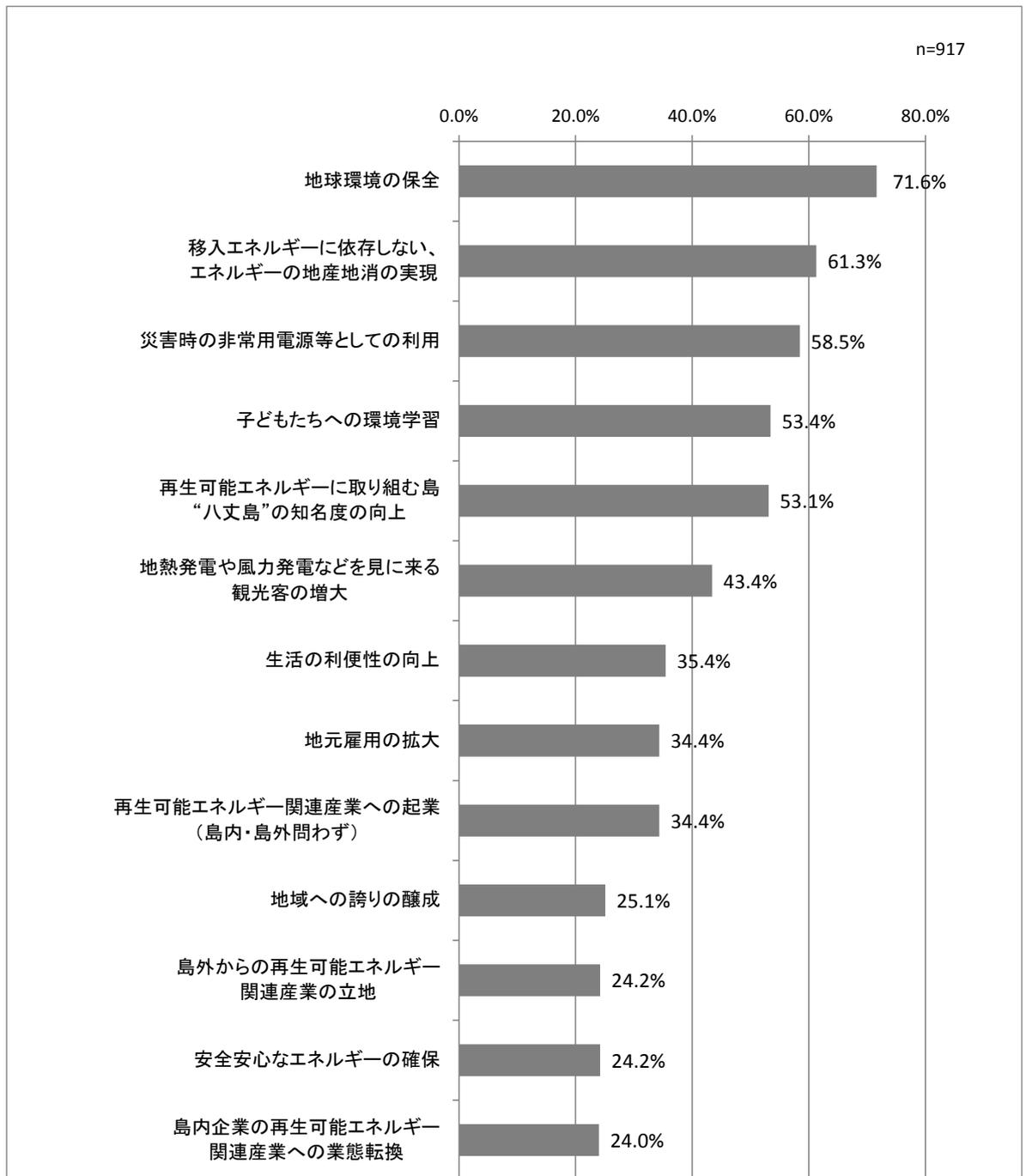
問11 八丈町で、再生可能エネルギーを導入していくことは大切だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



1 2) 再生可能エネルギーの普及により期待される効果

再生可能エネルギーの普及により期待される効果としては、「地球環境の保全」、「安心安全なエネルギーの確保」、「移入エネルギーに依存しない、エネルギーの地産地消の実現」などの環境面や昨今のエネルギー事情を反映した理由が上位にあがった。また、災害時の電源としての利用に対する期待も大きい。産業面では、「島外からの再生可能エネルギー関連産業の立地」に対して期待感が薄いことも明らかとなった。

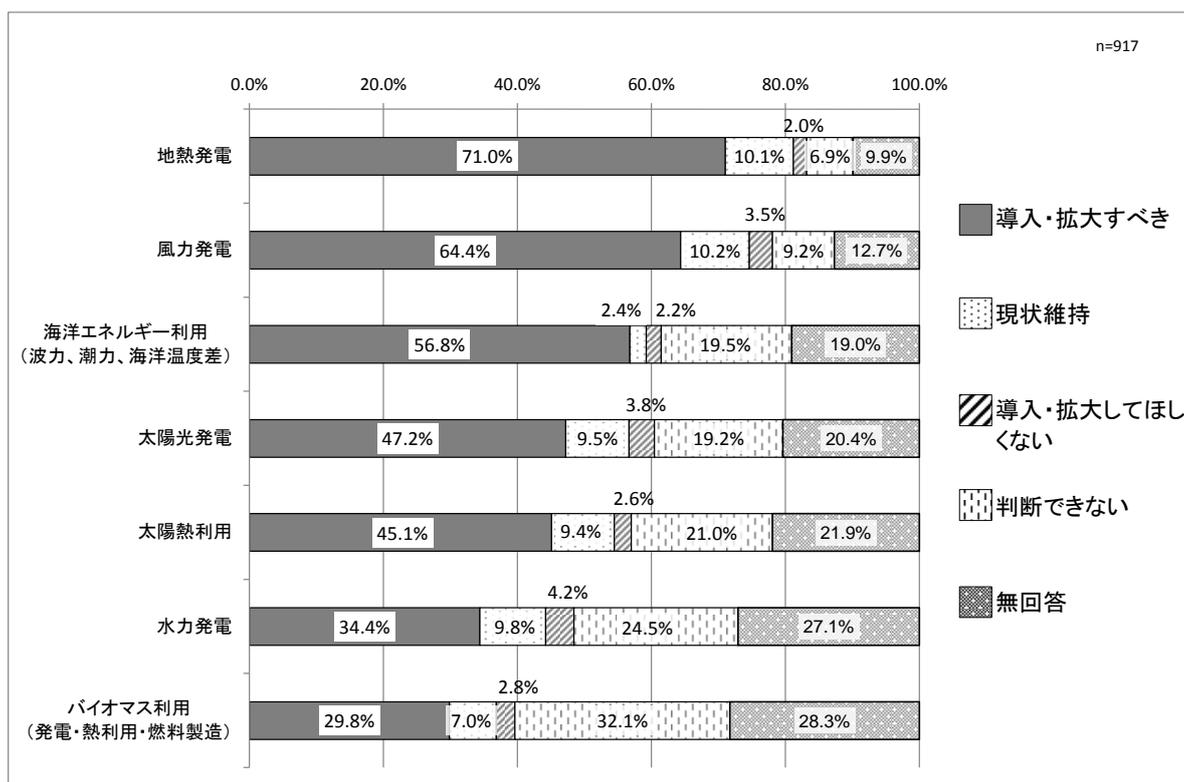
問 1 2 あなたは再生可能エネルギーが普及することによって、どのような効果を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



1 3) エネルギー選択

選択肢のうち、「導入・拡大すべき」という意見が多かったのが、地熱発電 71.0%、風力発電 64.4%と、既に八丈島に導入実績のある地熱、風力が上位となった。それについて海洋エネルギー利用(波力、潮力、海洋温度差)56.8%が続き、一般的に認知度の高い太陽光発電はそれに次ぐ形となったことから、海洋エネルギーに対する期待が高いことがうかがえる。

問 1 3 今後、八丈町で導入・拡大すべき再生可能エネルギーはどのようなものだとお考えですか。あてはまるものにそれぞれに○をつけてください。

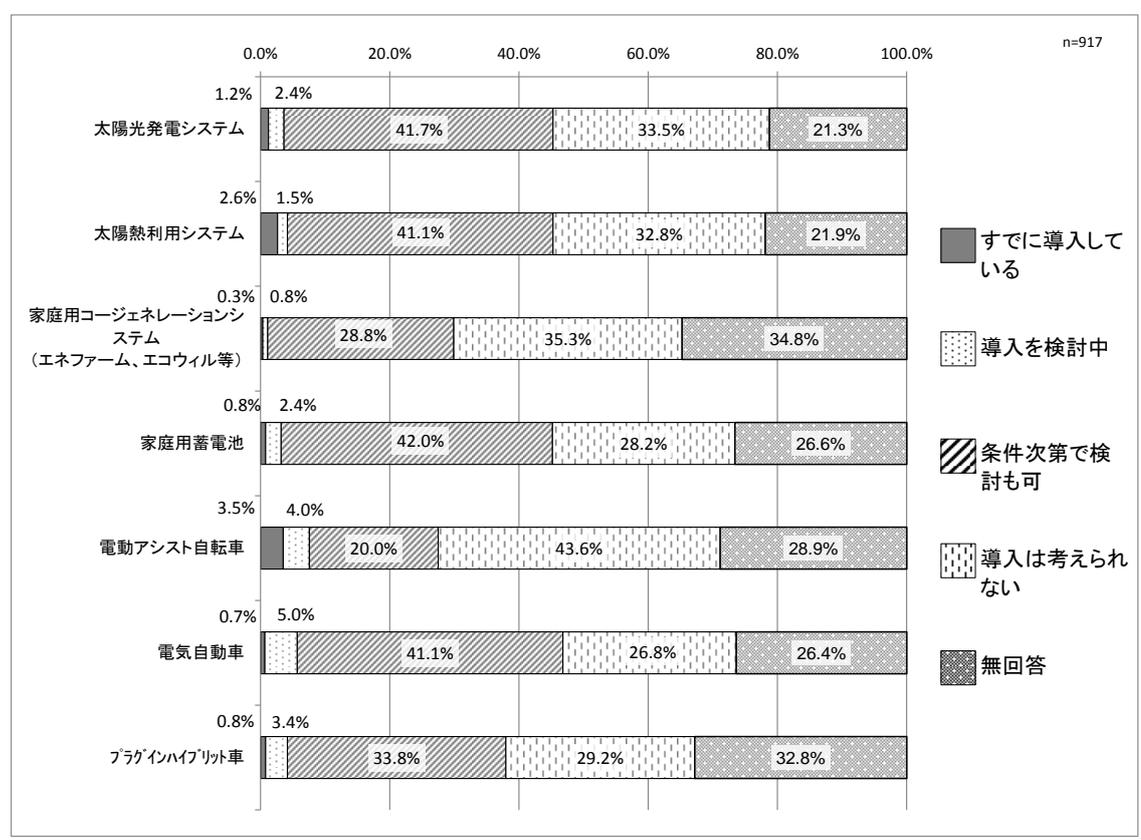


次に、あなたのエネルギー選択に関するお考えについておうかがいします。

14) 家庭への導入

家庭での再生可能エネルギーの導入について、「すでに導入している」、「導入を検討中」はいずれも10%未満であり、いずれの設備も一般家庭には普及していないのが現状である。①太陽光発電システム、②太陽熱利用システム、⑥EVに関しては、「条件次第では検討も可」の割合が多く島民の間で関心が高い設備であることが分かる。③家庭用コージェネレーションシステム、⑤電動アシスト自転車は「導入は考えられない」が「条件次第では検討も可」を上回った。

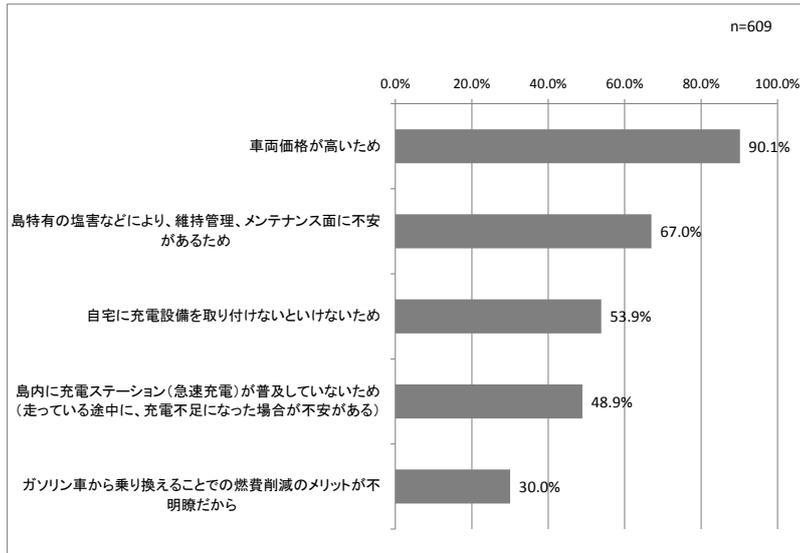
問14 あなたの家庭では、下記に示す再生可能エネルギー等の導入について、どのようにお考えですか。あてはまるものにそれぞれに○をつけてください。



15) 電気自動車・プラグインハイブリット車の導入の障害

電気自動車・プラグインハイブリット車の導入の障害となる理由として、「車両価格が高いため」が最も多かった。次いで「島特有の塩害などにより、維持管理、メンテナンス面に不安があるため」が挙げられ、島特有の自動車事情を反映している。

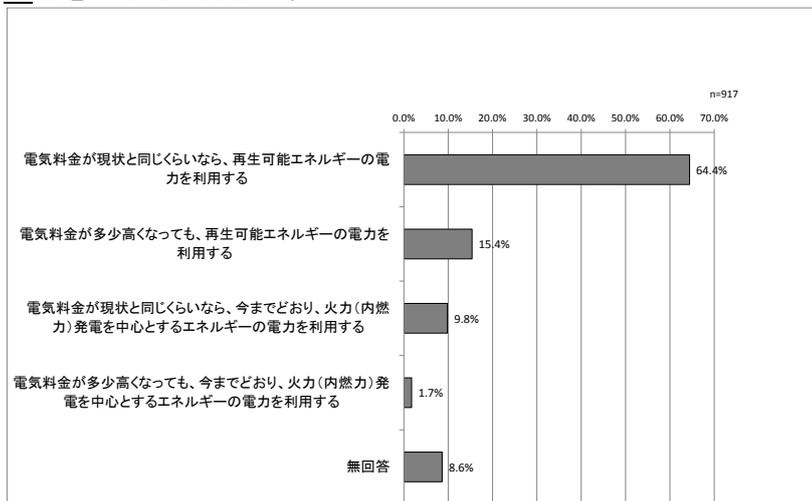
問15 問14の⑥電気自動車・⑦プラグインハイブリット車で、2～4を選択された方に質問です。これらの導入の障害となる理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。



16) 電気料金

電気料金については、「電気料金が現状と同じくらいなら、再生可能エネルギーの電力を利用する」が回答の過半数を占め、「電気料金が高くなっても、再生可能エネルギーの電力を利用する」は全体の15%程度に留まった。

問16 あなたはご自宅の電力エネルギー源を自由に選択することができたら、どのようなエネルギー源を利用したいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

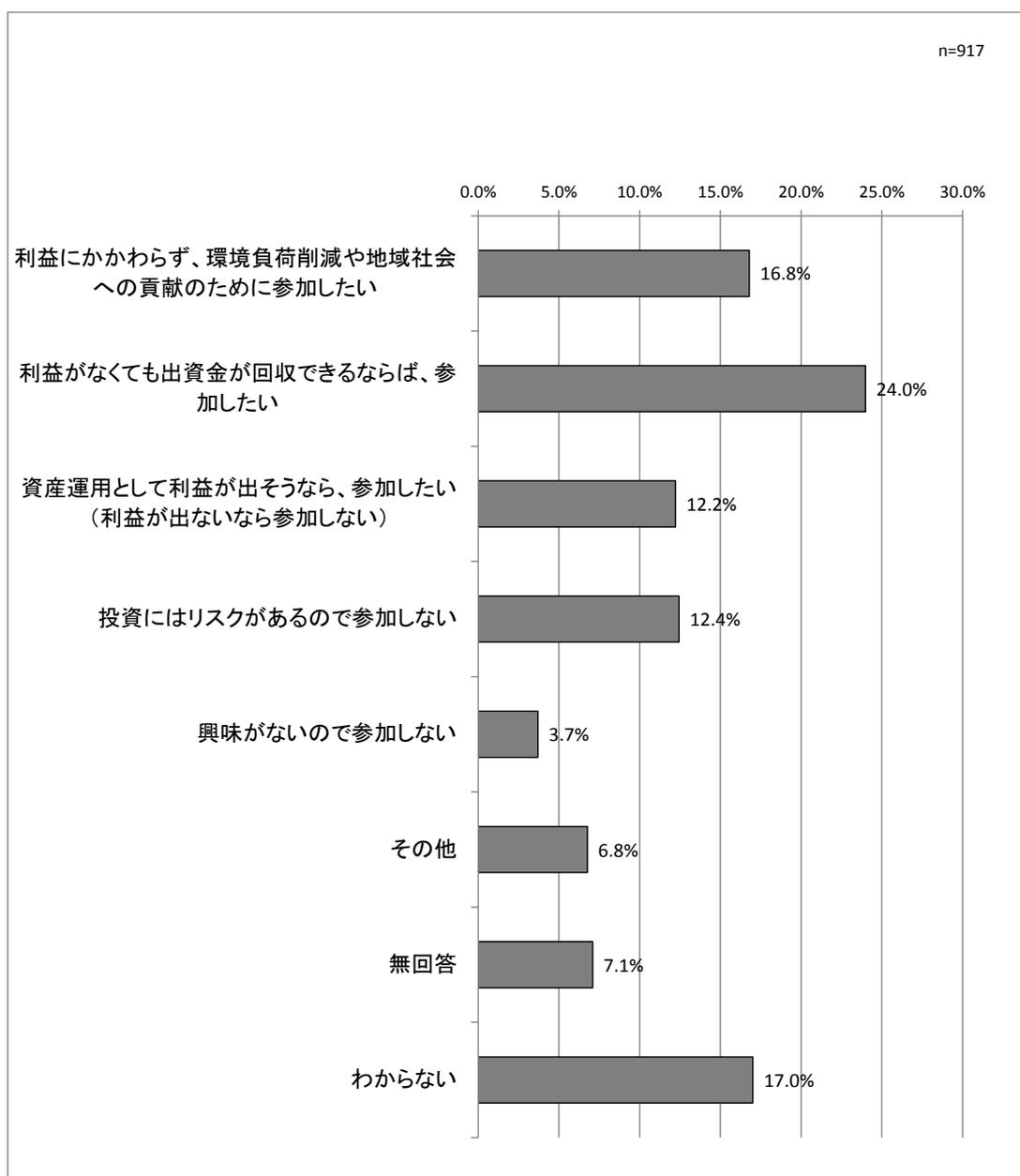


17) 出資意向

出資の意向については、「利益にかかわらず、環境負荷削減や地域社会への貢献のために参加したい」、「利益がなくても出資金が回収できるならば、参加したい」の、自らの利益とは関係なく出資するとの回答が約4割を占めた。これに「利益が出そうなら参加したい」を合わせると、回答者の約5割が何らかの出資意向を持っているといえる。

問17 八丈島で再生可能エネルギーを利用した地域活性化に資する取組(※)が計画された場合、あなたは出資者として参加(投資)を考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 例えば、地域住民が太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの建設資金を出資して、売電利益の分配を得ることなどが考えられます。



18) 意見・アイデア等

再生可能エネルギーを拡大し、それらを利用することによる地域活性化についての意見・アイデアを自由記述形式で質問した。解答は大きく「再生可能エネルギーの拡大に関する意見」、「地域活性化に関する意見」、「再生可能エネルギー拡大に期待する意見」、「再生可能エネルギーの拡大に対し懸念を表す意見」に大別された。

問18 八丈町内における**再生可能エネルギーの導入促進と地域経済の活性化**について、ご意見・アイデア等がありましたら、具体的にご記入下さい。

例：再生可能エネルギーのスタディツアー・視察観光の増加による観光産業の振興、地熱発電に伴い発生する温水の一次産業（農業ハウス、養殖用いけす）への活用や、温泉施設、福祉施設への活用等

再生可能エネルギーの利用拡大に関する回答	水力発電の利用拡大/風の強い時だけ回る八丈仕様の風力発電材の開発/原発を撤廃し、再生可能エネルギーに転換すべき/中之郷や末吉の滝を利用し小さな水力発電所を作る/トイレや雑草などでメタンガスを作る/三根側の三原山の水源の所に大きなダム・発電所を整備/風力発電の利用拡大/電気が蓄電できれば素晴らしい/干満の水量の増減を利用した重・減量発電/使われていない農地にソーラーパネルや風力発電施設/薪や太陽熱など、直接的な熱エネルギーの活用/公共施設には積極的に太陽光システムを導入すべき/河川を利用した水力発電を推進すべき/海水揚水発電所/海上フロート基地（海流発電）建設/波力発電/潮力発電/水素発電/ 廃材を利用したバイオマス発電/太陽熱温水帯
再生可能エネルギーの活用のアイデアに関する回答	坂下地区への温泉施設の増設/水族館のような観光事業/温水プール（人用、ペット用）/ダイビングプール/身体と心のリハビリをする、人間環境全体研究機関・総合研究リハビリテーションセンター/地熱館を再開させる/フィットネスクラブ（高齢者の健康増進と観光客の雨天日対応）/福祉施設/温泉施設は減少させ、充実した施設に/植物園/農業ハウスへの利用（キクチレモン・スーパーフルーツなどの栽培促進）/製造業の電気料金を下げ、地産地消につなげる/地熱でできる特産品を考える（蒸気で蒸し料理など）/エコアグリマートをジャングルのようにする/都や国をあげて八丈島の地熱発電所を見学地として整備し、観光産業の振興に役立てる/魚介類・天草・熱帯魚などの養殖/クワハウスの拡充/エコ・健康ツアーを組む/特区を作り、電気代を下げ工場を誘致する/バイオマスの発酵熱を利用した風呂（発酵風呂）/オンドル、床暖房/サウナ、岩盤浴/大川水力発電所跡を再利用/町営バスを電気自動車（再生可能エネルギー100%）で走らせる/EV
再生可能エネルギー拡大の懸念事項に関する回答	維持管理費などの今後の考え方を明確化してほしい/日照不足で太陽光発電は不向き/塩害・風害・波害を考慮する/地熱発電の臭いをどうにかする、健康が心配/再生可能エネルギー導入の目的・メリットが分からないので判断できない/風力発電は音がうるさい/安定供給は可能なのか/自然破壊をしない/町や都の補助制度や電力の買い上げ制度が不明瞭/故障のリスクが大きい、持久力をアップさせる/風力発電は風が強すぎると壊れる/メンテナンス体制が心配/地熱発電の拡大で温泉が出なくなる心配はないのか/再生可能エネルギーについて町民の知識がまだ不足している（ワークショップ、勉強会などがあれば関心がわく）/再生可能エネルギー導入と活性化を結びつける必要はない/電気代の高騰が気になり/風力発電の低周波による健康被害/もう施設はいらない/全島民の意思確認を取ってほしい